ふかまちのまど

第二七三号　一七年一月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三―三九二一

連合町内会活動報告

新年のあいさつ

深町連合町内会
会長　林　洋祐

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。昨年には、町内会の活動、運営に格別のご理解と温かいご指導を頂き大変有難く、役員一同衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、豪雨による六月の災害がありました。危険を感じられ、自主避難をされた方もおられます。私は上組の被害状況は承知しておりますが、深町全体のすべては承知しておりません。三原市全体では、五百件余りの災害が発生したと聞いておりますが、上組に於きましても、二十二件の災害が発生致しました。家の裏が崩れたり、家の横の川の堤防が壊れ、身の危険を感じられたお方、田畑が災害にあわれたお方様と大変でありました。災害に合われたお方、心よりお見舞い申し上げます。五十年に一度とも聞きますが、私達の町を、命を守るために、どの様にすべきか、考える必要があると思います。三原市より、防災にかかる講習、講演の案内を回覧等で皆様にお知らせいたしております。お互いが関心を抱く必要があると思います。

「瀬戸内三原城築城四百五十年事業」が本年二月より実施され、各種行事が十一月まで開催されます。皆様にご協力頂いて、私達に出来ることは参加いたしたく考えておりますので、大変と思いますが、何卒よろしくお願い致します。

一方、町内において、各種の団体の皆様に活動頂き、住民同士の連携、より良い町作りに寄与頂いておりますが、各団体とも大変との声をききますが、相互協力を頂いて、益々の活動をいただきます様、お願い致します。

新春にあたり、今後とも町民の皆様のご協力、ご理解をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、飛躍の年であるとともに幸多くの年で在ります様御祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

▲▲

尚寿会だより

忘年会開催

尚寿会会長　原　勇吉

十二月八日恒例の忘年会を白竜湖リゾート温泉で開催しました。当日は、晴天で気温も十度C絶好の行楽日和とはいかなかったが、温泉内の暖房も程良く効き、楽しく一日を過ごすことが出来ました。

九時三十分に松尾峠出発、深山峡の絶壁と山々の紅葉を眺め、一路白竜湖リゾート温泉に十時三十分着。

早速、温泉に入り、白竜湖を眺めながら、日頃の疲れた体を労りリラックスする事ができました。十一時三十分より、乾杯の後、歓談しながら楽しく会食。余興として、ボランテアの方の福神のおでむかえ、紙芝居を見たが人操りが着かず代替人がやられた為良くなかった。帰深時間調整の為のビンゴゲームをしその後道の駅によりお土産を買い、十五時深町着。余興の計画ずれが残念だった。

参加下さいました皆さん有り難うございました。

次回はH二十九年一月新年会を中組町民会館で開催します。

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子供は

○午後四時過ぎに下校します。
※日によって、異なることがあります。
○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ、声かけをしましょう。

短歌、俳句、詩

今月の掲載は休ませて頂きます。

深小だより

新年を迎えて…今年もよろしくお願い申し上げます

深小学校長
赤羽　邦子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、深小学校に対して多くの方の力添えをいただきましたことを心より感謝申し上げます。

この二学期を振り返ってみると、子供たちの頑張りはもちろんですが、いつも地域や保護者の皆様のご支援やご協力をいただく中で、豊かな教育活動を推進することができていると実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、子供たちが深町で育まれていると感じるうれしい出来事がありました。十二月初旬、書店から深小学校へ新刊「日本の歴史」シリーズ二十巻が届きました。届主は、「この深町でお世話になっているので、ぜひ深小学校の児童に役立つことをしたい」という思いで送られたとのことでした。突然のことで驚き、匿名でという希望でしたが、書店の方に無理を言って何とか名前をお聞きする事ができました。それは、峠にお住いの川下様からの寄贈でした。深町に越してこられて十五年が過ぎ、お世話になっている深町へ感謝の気持ちを形に表したい思いで本を寄贈されたとのことでした。

一週間後の全校朝会で、本の紹介と寄贈してくださった思いを子供たちに伝えました。子供たちは、話を真剣に聞いていました。その日の夕方、今度は川下様の方からお電話がありました。それは、近所に住む高学年の子供たち六人が、自分たちで考えてお家へお礼に伺ったとのことでした。「まだ、本は読んでいないけれど、いただいたことへの感謝と、これからもがんばって勉強します」という思いを伝えたということでした。子供たちが、話を聞き、自分たちで考え、感謝の気持ちを伝えたということを聞いたとき、改めて子供たちが豊かに育っていると感じました。子供たちの豊かな心は、深町の中で育まれていると思います。

深町にある温かい風土の中で、今年も子供たちの力がさらに伸びていくよう、教職員全員で力を合わせて前進していきたいと思っております。

今年もよろしくお願い申し上げます。

▲▲

謹んでお悔み申し上げます

山内　守　様　八十六歳
（中組　田屋講）　十二月七日

深町各種団体一月行事予定

◆連合町内会
▼ビーチボールバレー大会　一五日
（三原リージョンプラザ）
◆下組町内会
▼総仏法要（十時開始）　八日
◆消防団
▼出初式　八日
◆小学校
▼仕事始め　四日
▼登校指導　始業式
学区児童会　委員会活動　一〇日
▼市内標準学力調査
（国語・算数・理科）　一一日
▼放課後子ども教室
ＰＴＡ役員会　一二日
▼持久走大会　下校指導　一五日
▼持久走大会予備日　一六日
▼クラブ活動　一七日
▼読み聞かせ（教室）　一八日
▼市教研教科部会
（一年図画工作科授業）　一九日
▼ふれあい広場準備二〇・二一日
▼ふれあい広場　二二日
◆如水館中学・高校
▼始業式　学級役員選出　七日
▼大学入試センター試験①　一四日
▼大学入試センター試験②　一五日
▼高校入試　一六日
▼高三学年朝会　一九日
▼（中）英語検定　二〇日
▼（高）国公立二次三者面談①　二一日
▼（高）国公立二次三者面談②　二二日
▼高一学年朝会　二三日

町内の皆様へ

買物レシート投函について（御礼）

深町太鼓踊り保存会
会長　西本　薫

新年を迎え、皆様方には何かとお忙しいことと存じ上げます。平素は、深町太鼓踊り保存会に格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて表記の件についてですが、ニチエー中之町店様のご好意により店舗入口に買物レシートを投函するボックスがございます、そのボックスに買物レシートを入れて頂くことにより幾らかの補助金を頂けることになっておりました。

深町の皆様を始め、ニチエー中之町店にご来店下さった方から、沢山の買物レシートを投函下さったことにより補助としてニチエー買い物券を頂くことが出来ました。

ニチエー買い物券は、今後の活動に有難く使わせて頂こうと思っております。

皆様方からのご好意に心から御礼申し上げます。

▲▲

第二中学校だより

災害について知ろう～

三原二中一年　遠嶋　愛花

私は、今回防災学習をしてたくさんの事を知ることができました。防災学習をする前は、防災グッズは何があるのかや災害が起きた時にどう行動を取れば良いのか全然分かりませんでした。でも、今回の学習を通して学ぶことができました。

「災害が起きたときに行うこと」

私はこの事を知っておく事が一番大事だと思います。知っていれば助かるか、助からないかで命が左右されると思いました。家にいるときは、すぐに外に出ないこと。水をできるだけためること。この事は災害が起きた時にまず行うことです。まだまだほかにもたくさんあると思うので調べようと思います。

ほかにも、災害時に必要なグッズは何があるか調べました。すると、私の家にはない物ばかりだったので準備しないといけないなと思いました。災害は、いつ起きるか分からないので起きてもいいように準備しておかないといけないと思いました。

これからは、今回学んだ防災学習の事を忘れずに災害に備えたいと思いました。

▲▲

防災学習

三原二中一年　藤原　栄未

私は防災学習をする前は、三原市には大きな災害などはこないだろうと思っていました。そして、防災グッズなど用いしていなくてもいいだろうと思っていました。

私は防災学習をして分かったことは、三原市に来ないだろうと思っていても、いつ、どこで、どんなときに災害がおこるか分かりません。三原市に津波がこなかもしれしてもしれません。大じしんは来るかもしれません。そして、防災学習をして防災グッズは、とても大切だと思いました。私は、防災グッズを一つも準備していないので、防災グッズの大切さを知ることができました。

私は、防災学習をして、これからに活かしていきたいと思ったことは、いつ、どこで、どんなときに災害がおこるか分からないので、家族みんなで話し合っておきたらどうしたらいいか話しあって決めていけたらいいなと思いました。そして、防災グッズも少しでも、準備できていたら、もし大きな災害などがおきたときでも、使うことができるので、準備できたらいいなと思いました。

▲▲

サンライズ大池だより

新年のご挨拶

サンライズ大池
施設長　河野　芳満

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

深町の皆様と共に、当施設も新しい年を迎えることができましたことは、ひとえに地域の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて、高齢化が急速にすすみ、時代の背景と共に家族の在り方に対する考え方や形、個人としての人生への考え方が多様化していく中、施設介護に対する認識も大きく変容しています。特別養護老人ホームにおいても多数の方が入所を待っておられ、第六期三原市高齢者福祉計画に基づき、一月一日より特別養護老人ホームの定員を五十四名から六十四名に変更（増数）し、ショートステイの定員を十六名から六名に変更（減数）致しました。

また、開設から十八年目を迎えることになりました当施設の建物も、今春から大規模改修工事の着工を計画しております。地域住民の皆様方にご迷惑をお掛けすることになりますが、何卒ご理解・ご協力いただきます様お願い申し上げます。

これからも「地域の人々の安心と心豊かな社会の実現に貢献します」の法人理念に沿って、職員一丸となりサービスの充実に取り組んでまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

▲▲

深町の植物

力石　卓夫（三原市宗郷）

≪ヤブニッケイ≫

同じクスノキ科の肉桂（ニッケイ）に比べて、劣る（役に立たない）ことからヤブ（藪）をつけたものとされる。肉桂の名は、中国では香木を「桂」と呼び、厚い樹皮「肉」であることから、肉桂になったとされています。

※十二月十日撮影

▲▲

TBG協会だより

第五回公認コース　認定記念大会

第五回公認コース認定記念大会が十一月二十七日（日）世羅町小谷コースにて行なわれました。

三原TBG協会からは、金子勝彦・石井張司の二名が参加しました。

成績は次の通りです。

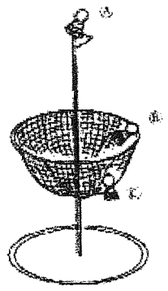
シニアの部
二位　金子　勝彦（和田町）

第六十五回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

第六十五回三原市TBG月例会が十二月十一日（日）深町・城山コースにて行われました。

成績は次の通りです。

一位　谷岡　義昭（深町・中組）
二位　林　洋祐（〃・上組）
三位　石井　張司（〃・下組）
ベスグロ七十七
谷岡　義昭（〃・中組）
二人組戦一位
志水　孝則（〃・下組）
船本　雄三（〃・中組）



次回大会は、一月十五日（日）に実施します。

＊選手の敬称略

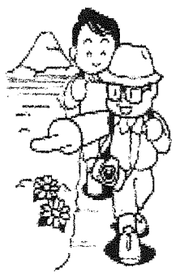
TBG事務局　天木　雅之

▲▲

歩く会にご参加を

歩く会幹事　石井堂熙

中之町　干川神社周辺



月日　一月十七日（火）
予備日：一月十九日（木）

行程
九時　〇〇分　深上組公民館発（車）
九時　三〇分　干川神社周辺探訪
十一時〇〇分　探訪終了、昼食
十三時〇〇分　深上組公民館着（車）

高齢者相談センター どりいむだより

電話　六一―四四一〇

認知症の人の気持ちについて

認知症の人は現在全国で六〇〇万人に達しており今後も増加が予想されています。認知症になると何も分からなくなる、本人は困っていないが周りは大変といった話を耳にすることがあります。最近は認知症の人ご自身が自分の言葉で自分の思いを伝えることも少なくありません。正しい認知症について知るためには当事者の思いや感覚を知ることが大事です。

◎認知症の人のメッセージを紹介します。

①家の中でどこに物を置いたか、解らなくなってすごくストレスがたまる。近くに置いたのは確かなのに、それがどこにあるか気づかない。時々泣きたい気持ちになる。

②会話がもう楽しくない。次に何を言うべきなのかすぐ忘れるから、会話をするのが大変になる。それが、すでに言ったことを忘れて何回も同じことを繰り返してしまう。

③なんだか、一つのことをやっていても途中ですぐ次のことを始めてしまって、結局何も完了できないことがある。短期記憶能力が、悪くなっていくばかりだ。

④私は、自分の能力のなさ（記憶力の低下や、病気とうまく付き合えないこと）を思うとイライラしてしまう。家族との思い出が消えてしまうことを考えるだけでとても恐ろしい。どうして、こんな大切な思い出さえ、忘れてしまわなくてはならないんだろう？

健康だより

○インフルエンザ予防接種について

秋冷を迎え、インフルエンザの流行季節が近づいています。今年度も三原市では「高齢者インフルエンザ予防接種」が実施されます。

◎六十五歳以上の人…料金一五〇〇円
・生活保護世帯、市民税非課税世帯（介護保険料の段階一・二・三・特例三）の人は無料

『無料対象の人』
・介護保険料納付通知書兼更生通知書（七月に郵送されたもの）の三ページ目のコピーを医療機関に提出してください。
・十月～十二月の間一回のみ接種できます。

◎市外で予防接種を受けられる人…各種健センターにて事前に手続きが必要

予防接種を受ける事でインフルエンザにかかりにくくなり症状を軽減することが期待できます。主治医と相談して予防接種を受ける事をお勧めします。